

今、市会で議論されていることも、京都市の将来に繋がっているのね。もうすぐお盆の頃だから、9月市会も盛り上げようね！

今回のタイムトラベルで見てきたこと以外にも、市会が誕生した約130年前から、そして今、京都市会が京都市民の暮らしの隅々に関わっているんだ。すべての京都市民の思いを背負い、京都市会・市会議員は、活動を行っているんだね。

京都市会の様々な議決のうえに、今の私たちの生活があることがよくわかったわ。

さあ、戻ってきたよ！

平成

平成にやってきましたわ。市会で話し合っている内容を手軽に知ることができるようになっていますね。

議会機能の強化

- 通年議会の導入
- 議員提案による政策条例の制定
- 京都市会基本条例の制定 など

社会情勢に応じた見直し

- 議員定数の見直し (最大72人から現在は67人)
- 政務活動費の透明性の向上 など

開かれた市会の取組

- 傍聴環境の整備
- インターネット議会議中継の開始
- 市会だよりの発行 など

本会議等での手話通訳の導入

京都市会や市会議員が、市民の皆様に対して果たすべき役割などをお約束した条例で、議会活動を行ううえでの理念や原則・制度など基本的なことを定めています。

領収書等のインターネット公開など、説明責任をより一層果たす取組を行っています。

社会状況を踏まえた様々な改革を実現

明治

明治22年、129年前の京都市の地図を見てみよう。

あ、この建物は、大雲院というお寺だよ。記念すべき第1回市会が開かれた場所なんだ！

初めての市会はお寺を借りて開いたのね。なんとも京都らしいわ。

初めてのお寺で開く

明治22年6月14日に第1回京都市会が開会。議場となった大雲院は、現在の下京区寺町通四条下る東側にありました。

これは何の文書かしら？

「建議」として、国に対する要望書なんだ。これは明治23年に提出されたもので、京都市民による自治を求める内容だよ。

市民による自治の獲得に向けて

京都市会が国に対して、何度も声をあげて、それが叶ったのね。

*京都市会で可決した国に対する訴え
明治23年「特別市制に関する建議」
明治24年「市制特例廃止の請願」
明治29年「特別市制撤去の建議」

明治22年、全国に市町村が形作られました。東京・京都・大阪の3市は、知事が市長を兼務し独自の市長がないなど、自治権が限られていました(=市制特例)。写真の「建議」をはじめ、京都市会を中心とした自治獲得に向けた長年の努力により、明治31年に遂に市制特例が廃止されました。

大正

大正時代の市会の様子だよ。

市民のくらしを真剣議論

今の市会議場と同じ半円形の配置だよ。

大正時代の議事堂

京都市会の議事堂は明治28年に現在の場所にできました。明治31年に市制特例が廃止された際には、この議事堂を借りる形で京都市役所が開庁しました。

次は大正だ！

昭和

二条城の市への移管を決定

きれいな絵だね！

宮内省(現・宮内庁)からの申出があって、京都市会が満場一致で移管を決めたんだよ。

市民の安心・安全を、市消防局の発足を

消防訓練をしようわ！

京都市消防局は昭和23年に発足したんだ。もちろん、関連する条例は京都市会で議決したんだよ。

当時の訓練の様子

一般公開が始まった頃の入城券。二条城は昭和14年に国から京都市に移管されました。

昭和2年建設の議場

現在の議場は昭和2年に建設されました。

昭和へ行ってみよう！

伝わる市会に向けてみなさまのお声を生かします！

アンケートにご協力ください！

回答者の中から抽選で10名様にトリアフィカカード1,000円分と、市会オリジナルグッズのセットを進呈します。

Q.1 今号以外で、これまでに市会だよりを読んだことがありますか。

① 毎回読む ② たまに読む ③ 読んだことがない

年に7回、市民しんぶん版に挟み込んで配布中

Q.2 今号の特集記事「京都市会の歴史をタイムトラベル」について、内容はわかりやすかったですか。

① 大変わかりやすい ② わかりやすい ③ わかりにくい(具体的にわかりにくい部分をご指摘ください)

Q.3 今後、特集記事として読んでみたいテーマはありますか。(複数回答可)

① 市会の仕組み ② 市会議員の仕事 ③ その他(具体的なテーマをお聞かせください)

Q.4 今号への感想や市会だより全般への提案などをお聞かせください。

※いただいた回答は、ホームページなどで紹介する場合があります。

〒604-8571 (住所不要) 京都市会事務局調査課 市会だより担当 (FAX:222-3713)

広報モトローさんからの意見

京都市会では、「見える市会」「伝わる市会」の実現を目指し、様々な媒体を活用して情報の発信を行っており、今年度は30名の広報モニターの方に、各種広報物に対する御意見をいただいています。ここでは、京都市会だよりに関する御意見の一部を紹介いたします。

2匹のマスコットキャラクターの対話形式で記事を紹介するといいのでは。

(親子ふれあい議場見学会などの)見学した子どもらの感想を載せてほしい。

少しでも興味が湧いたり疑問を持ったりできる記事にしてほしい。

市民生活をより充実させるために市会には頑張っているという事をもっとアピールすると良い。